

かがやけ あさひ

校長室だより 9月 3号

食は生きることに
命をいただくこと
食べることは
生きることに
命をいただくこと

『食べる』ということは、生きものの命を食べることで、その命をいただくことなのです。私たちはそうしなければ生きていけないのです。

その命をいただき、食物を食べやすいように調理してくれる人がいます。家ではみんなのおうちの人、学校では給食調理員さんです。このように多くの人の働きで私たちは食べることが出来るのです。児童集会で話した内容です。

皆さんが食事をするときに挨拶として言う、「いただきます」は、食べることで、今日も元気に生きていけるという喜びと感謝の心を込めて、声に出していう言葉

なのです。実はこれから紹介する愛彩ランドで指導して下さった方が同じようなことを話してくださいました。食事をする際に、その方が6年生に「何をいただくのですか」と質問されたときに、ある6年生が、「いのち」と答えてくれました。そういう意識を持っていてくれたことは嬉しいことです。

6年生 体験料理教室 とても有意義でした

J Aバンク食農教育応援事業としてJ Aが主催する調理教室に抽選で当たって、愛彩ランドに6年生4クラスが一日ずつ参加してきました。往復のバス代や実習費はJ Aさんが負担してくれるので参加費は無料でした。献立は



野菜のあんかけ手打ちうどん、ごはん、果物、そして飲み物もついていました。



プロの板前さんに、うどんになる生地のおね方や丸め方、伸ばし方を丁寧に指導いただきました。そ



して、その生地をねかしている間、グループで計画した段取りで、愛彩ランドに買い物に出かけました。野菜や肉、そしてデザートと自分で選んだ飲み物を買いました。決められた金額ということもあって各班工夫しながら、隣の班と果物を分け合えばうまく予算内におさまり、数多い果物も食べることができるという発言もあり、よく考えているなあと感じました。その後、野菜の切り方と炒める順番を教わりました。それは、食べてもらえる相手のことを考えて、おいしく食べてもらえるようにするために、手間暇かけて丁寧に調理することや、「おいしかった。」と感謝されることが一番うれしいことだと…。堅い野菜であるタマネギの後に肉を炒めるのは、肉のうまみ成分をいためて閉じ込めるためだとか、麺を湯がいて、沸騰した際に、びっくり水を入れるのは、麺が縮んでしまった表面を広げることでおいしい仕上がりになるんだとか専門的なわざも教えてもらいました。



全員がそろっていよいよ会食というときに、係の人が、「命をいただき、この命の循環に感謝しましょう。」と話されました。単に調理するだけでなく、食べ物への感謝の気持ちを常に持ち、日々の食事をしていきたいものですね。『食』は「人」に「良い」と書きますね。